聖グレゴリオの家 賛助会
入会のご案内

1．賛助会の年会費は次の三種類です。
A会員：10,000 円　B会員：20,000 円　C会員：50,000 円以上
年度の更新時に、会員種別を変更できます。

2．会員特典
・聖グレゴリオの家が催す各種企画・活動のお知らせをします。
・聖グレゴリオの家が催す各種企画（演奏会等）に、割引料金で参加できます。C会員は、無料で参加できます。（但し、ワークショップ、 講習会等、参加人員に制限のある場合は、その限りではありません。）
・聖グレゴリオの家資料室を、利用する事ができます。
・賛助会総会に参加して、聖グレゴリオの家の活動に対する提言を行う機会があります。

3．申し込み要領と宛先
◎賛助会のホームページをご覧ください。
http://st-gregorio.or.jp/supporting_association/
◎ファックス・郵送による申し込み：
①入会申込書に、必要事項を書き込み、下の宛先にファックスか郵送をして下さい。
②会員種別に準じた年会費を、４の取り扱い金融機関口座に、お振込み下さい。
③上の賛助会費のお振込みを確認次第、賛助会員として登録した上、会員証をお送りします。
ファックス・郵送の宛先：聖グレゴリオの家賛助会宛
〒203-0004　東京都東久留米市氷川台２－７－１２
tel：042－474－8915　／　fax：042－474－8832

4．取り扱い金融機関：下のいずれかの金融機関にお振込下さい。
◎東京都民銀行　東久留米支店
普通預金 ４０５６９４７　宗教法人　聖グレゴリオの家賛助会
◎ゆうちょ銀行　００１８０－２－６６２９３０　聖グレゴリオの家賛助会
他金融機関からの振込用口座番号
〇一九 (ゼロイチキュウ) 店（019）　当座 0662930

キリトリ

年　月　日

聖グレゴリオの家賛助会　入会申込書

会員種別を〇で囲んで下さい。	A会員　10,000 円 B会員　20,000 円 C会員　50,000 円 以上
お名前（ご法人名）：　フリガナ	担当者お名前（法人）：　フリガナ
ご住所：〒　　-	
TEL:　　FAX:	
Eメールアドレス：	
聖グレゴリオの家からのお知らせを送らせていただきます。	

教会音楽科
卒業生の声

伊藤　園子

キリスト教音楽院リードオルガン科講師
奏楽者の会リードオルガンクラス講師
日本バプテストキリスト教目白ヶ丘教会オルガニスト

すばらしい楽器アーレントオルガン・本物を伝えてくださる選び抜かれた先生方・年齢を超えて語り合える友人・典礼の原点を体験できる合宿・毎週、聖グレゴリオの家に行くのが楽しみでした。今はバプテスト連盟の教会で聖歌隊・オルガン奏者として奉仕をしておりますが、聖グレゴリオの家での学びが教会音楽奉仕の原点になっています。この施設がこれからも教会音楽のためにさらに用いられますように祈ります。

神谷　栄

ヘアフォード教会音楽大学 (教会音楽 A 課程) 在籍中
Landeskirchliche Gemeinschaft e.V.Herford 合唱指揮者

高校時代、グレゴリオ聖歌についてレポートを書くために聖グレゴリオの家を訪ねたのが最初の導きでした。数年後、教会音楽科で学び始め、教会音楽 B を取得後、レーゲンスブルク教会音楽大学にてオルガン科 (MA) を卒業、その後ヘアフォード教会音楽大学にて国家演奏家資格を取得し、現在は教会音楽科 A 課程に在籍中です。聖グレゴリオの家で教会音楽の学びの良い基礎を築けたことを感謝しています。

能登　伊津子

オルガン、チェンバロ奏者

聖グレゴリオの家の思い出は書き尽くせませんが、オルガンというものに殆ど触れたことも無かった私にとって、聖堂に響くアーレントオルガンの深く静かな音色は、いつも癒しと戒めを与えてくれました。卒業して 20 年程経つ今でもオルガンに指を置く度、優しく迎え入れてくれた「家」と温かい祈りの音楽、そして時間を共有した方々のお顔が浮かびます。

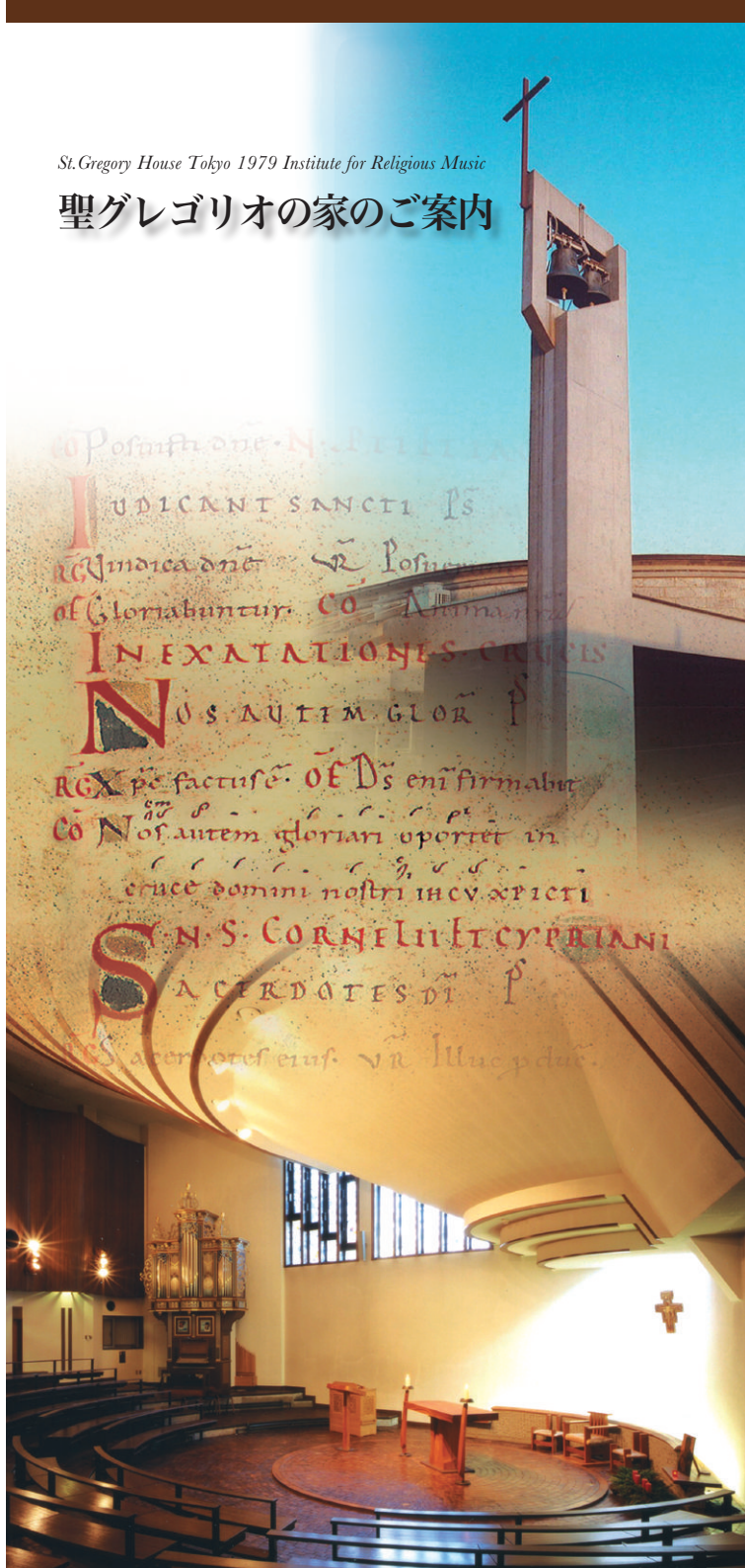
聖グレゴリオの家賛助会について

当研究所は、故ゲレオン・ゴルドマン神父の母国ドイツや諸外国からの物心両面の支援に頼って参りました。今後、海外の支援に頼るのではなく日本社会の中で聖グレゴリオの家の活動を支えていくために賛助会は 2009 年に発足しました。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

【 聖グレゴリオの家賛助会　発起人団 】
白柳誠一枢機卿（発起人会長・故人）
大友 直人（賛助会会長）
大武 和夫　斎藤 成八郎　都倉 俊一　根道 温子　深水 正勝
細川 俊夫　山谷 えり子　池田 龍亮　須藤 宏　野村 勝美

St.Gregory House Tokyo 1979 Institute for Religious Music

聖グレゴリオの家のご案内



宗教法人 聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所について

聖グレゴリオの家は、1979 年 9 月に独立宗教法人として設立され、祈り、研究、教育という 3 本の柱から成り立っています。その目的は、祈り、典礼を祝いながら、教会音楽の研究、保存と普及、そして教育にあります。この家は、ケルン大司教区をはじめ、創設者故ゲレオン・ゴルドマン神父（フランシスコ会フルダ管区）を知るヨーロッパの方々の献金によって建設され、その後の運営もこの方々をはじめとする多くの方の援助と祈りに支えられて参りました。

2005 年にはローマ教皇庁教育聖省によって、聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所とレーゲンスブルク教会音楽・教育音楽大学との提携が認可され、それによってここでも、ドイツの教会音楽家の資格を取得できるようになりました。

さらにこの研究所は、世界を包含するカトリック教会の音楽伝統に結びつき、国際的修道会であるフランシスコ会やベネディクト会と密接に連携し、世界に通用する研究所であると認定されました。当初から宗教、宗派を超えて（エキュメニカル）相互の交流を大切にしながら、日本における教会音楽の可能性を追求しております。

聖グレゴリオの家宗教音楽研究所所長　橋本 周子

http://st-gregorio.or.jp/

教会音楽科授業

教会音楽講習会

合唱音楽ワークショップ

聖グレゴリオの家創立者
フランシスコ会フルダ管区　ゲレオン･ゴルドマン神父（2003 年没）

教会の宝とされている、教会の伝統あるさまざまな音楽が教会から段々と見放され、教会以外で盛んになっていくのにしたがって、教会音楽家の養成、教会音楽の保存、また日本においての独自の教会音楽の発展と典礼教育のための研究所の必要性を強く感じ、その設立実現の計画を企てました。

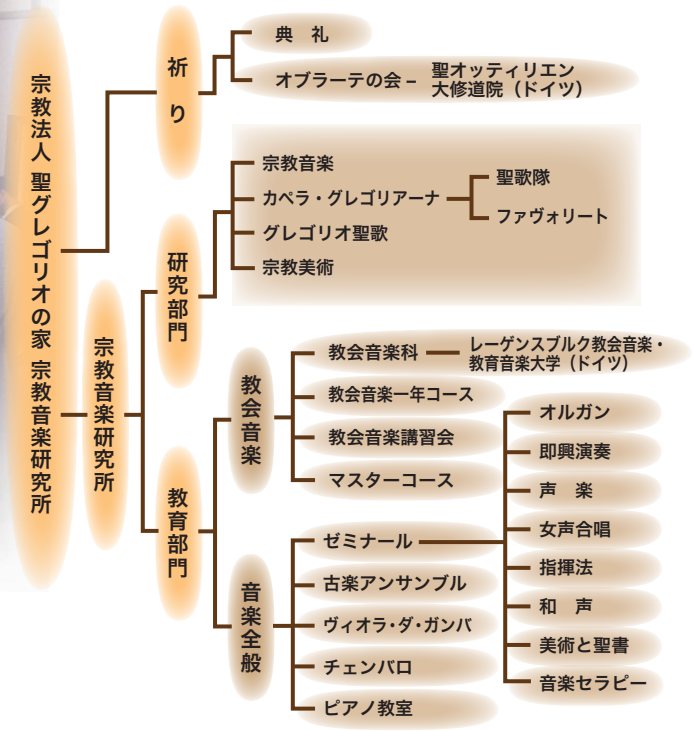
ヨーロッパ各地のベネディクト会修道院、テゼー、イムスハウゼンの共同体、ビザンチンの修道院等を訪れ、ともに典礼を祝うことをとおして霊的経験も深めてきました。宗教音楽に関することですから、精神的土台がなければ、どんな立派な研究所が建っても、適切な使命を果たすことはできないからです。私たちは、日々典礼をとおして神を礼拝する、祈りによって結ばれた共同体を必要としたからです。

日本における教会音楽の発展には、カトリック教会ばかりでなく、他の宗教の人々、またどこにも属していない人々とともに手をつなぎ合っていくことが大切であると考えております。400 年前、私たちの信仰の先駆者たちがすでに有馬において輝かしい成果をあげたように、東久留米の小さい研究所が、典礼とその音楽をとおしてこの地に根付き、精神的にも文化的にも役立つことを願っております。

9.11 愛と希望のコンサート

▲聖グレゴリオの家創立者
ゲレオン・ゴルドマン神父 (2003 年没)

≪ 聖グレゴリオの家宗教音楽研究所組織図 ≫



2005 年にローマ教皇庁教育聖省の認可を受け、ドイツ国立レーゲンスブルク教会音楽・教育音楽大学と提携。これにより「教会音楽 B（ドイツ国家資格で学士の学位）」と「教会音楽 C」の資格取得が可能になる。

理事長（2014 年～）
ベネディクト会士クラウディウス・バルス神父
ドイツ St. オッティリエン大修道院